

この「広報ひこね」は42,100部作成し、1部当たりの単価は14円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

一彦根城再発見一 400年目の出会い 第21回 彦根城の本丸

彦根城の本丸は、南北に長く伸びる彦根山の最も高い位置に築かれた「丸」であり、現存する天守のほか、「広間」や「宝蔵」「着見櫓」などの建物がありました。

広間は、天守の前面に建っていた大きな建物で、台所や局が付設されていました。現在も、礎石や雨落ち溝の一部が残っているので、気付かれた人もおられるのではないのでしょうか。広間は、元和年間(1615～1623)になって、山下に表御殿（現在の彦根城博物館）が建立されるまで、藩主の居館として、井伊直継をはじめ、主だった家臣や侍女たちが詰めた所でした。

広間の東、現在の売店がある辺りに宝蔵がありました。この建物は周囲に柵が巡っており、「宝蔵方」と呼ばれる部署が管理していました。彼らが記した『宝蔵道具帳』によると、宝蔵には、武器などの各種宝物や重要文書などが保管されていたようです。

宝蔵のさらに東の一段高くなった本丸の隅に、2階2重の着見櫓がそびえていました。中山道に通じる切通し道や彦根道、そして琵琶湖に開く松原湊などが眼下に一望でき、藩主の帰館を遠見する適所に位置する櫓であるところから「着見」の名が生まれたのでしよう。

着見櫓以外にも、本丸の外周の要所には多間櫓などの建物が建ち、各櫓をつなぐ瓦塀が巡って防備を固めていました。また、本丸内も局の東と西に瓦塀が伸び、それぞれ天守と櫓に接続することで、天守前は2重の構えが施されていました。

今日では何の障壁もない天守も、かつては、その出入りは厳重を極めたようです。

申告が必要になります！

所得税から住宅ローン控除が引きされない場合

今年から始まった、国から地方への税源移譲によって、平成19年分の所得税（今年の所得税）は、ほとんどの人で減少します。このため、平成18年以前に住宅を購入し、住宅ローン控除（住宅借入金等特別税額控除）の適用を受けていた人は、所得税から控除しきれない場合があります。このような人は申告によって、目減りした住宅ローン控除額を、平成20年度以降の市・県民税から控除できます。

市・県民税で控除を受けるためには 別途申告が必要です！

市・県民税で住宅ローン控除を受けるには、毎年の申告が必要です。平成20年度の「市・県民税住宅借入金等特別控除申告書」について、平成19年分所得（今年の所得）の確定申告をする人は、申告期限までに確定申告書に添付して**税務署へご提出**ください。給与の年末調整を受けていて確定申告の必要がない人は、平成20年1月4日から3月17日の間に、源泉徴収票を添付して**国税務課**に申告してください。

確定申告の必要がない人は 住宅ローンの年末残高を控えておいてください

確定申告をする人は、申告時に控除申告書を別に作成しなくてはなりませんが、確定申告に必要な添付書類以外のものを用意する必要はありません。

一方、給与所得の年末調整を受けていて、確定申告の必要がない人は、市役所への申告が必要になります。控除申告書には、**住宅ローンの年末残高**などの記載と、**源泉徴収票**の添付が必要です。年末調整のために「住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書」を勤務先へ提出する前に、同証明書に記載されている年末残高を手元に控えておいてください。

申告書の様式は、12月以降に**国税務課**窓口を設置するほか、彦根市ホームページに掲載する予定です。

問い合わせ先 **国税務課**市民税係 ☎30-6140、FAX22-1398

人口と世帯数
平成19年10月1日現在

人口	111,310人	(+ 57)
男	54,744人	(+ 27)
女	56,566人	(+ 30)
世帯数	42,068世帯	(+ 64)

() 内は前月との比較

全国物価統計調査にご協力ください

主な商品の価格や、サービスの料金を調査するため、「全国物価統計調査」が実施されます。この調査の結果は、物価対策や地域手当、生活保護費の地域調整の算定などに活用されます。

調査の対象となる事業所には、「調査員証」を携帯した統計調査員が伺います。調査へのご協力をお願いします。

問い合わせ先 **企画課** ☎30-6101、FAX22-1398